

イノベーションとは何か？ ～破壊的新規事業の起こし方～

日時	2022年11月18日(金) 13:30～17:00		
会場	オンライン (Webex を利用)		
趣旨	<p>日本企業を取り巻く環境は、以前にもまして一層速く、かつ急激に変化しています。グローバル化に加えて、第4次産業革命と呼ばれるIoT・AIなどの技術革新によるデジタル化の進展によって、様々な分野でパラダイムシフトが起っています。このような状況の中で、企業が持続的に発展していくためには、継続的なイノベーション創出が不可欠で、これに対する取り組みが国内外で活発になっています。</p> <p>一方で、リスクに対する消極性や人材の流動性不足などから、日本企業は破壊的イノベーションを起こしにくいとも言われており、実際に、取り組みを始めたものの十分な成果が得られていないとする企業が多いのも事実です。そして、多産多死を基本原則とするイノベーション創出を偶発的なものにしないうるためにも、組織的なイノベーション・マネジメント・システムの確立が重要であるとも言われています。</p> <p>本セミナーでは、以上のような観点から、継続的にイノベーションを創出するために有効な仕組みやマネジメント・システムについて、具体例を交えて解説して頂きます。第一線でご活躍されている講師の方々の貴重なお話をうかがえるまたとない機会ですので、技術マネジャー、中堅・若手技術者の方々はもとより、学生や教員の皆様にも、多数ご参加頂きますようお願いいたします。</p>		
キーワード	持続的(漸進的) / 破壊的(革新的) イノベーション, マネジメント・システム, 新規事業創出		
プログラム			
時間	題目	内容	講師
13:30～13:40	開会挨拶		日本機械学会関西支部 支部長 渋谷陽二
13:40～14:25	イノベーション創出に向けた経済産業省の施策について(仮)	解決すべき課題の複雑化、大規模化が進む中で、取り扱うテクノロジーも複雑化・深化が驚異的な速度で進行しており、変化に応じて研究開発・社会実装の手法を適応させていくことが重要です。本講演ではイノベーションを取り巻く課題を示すとともに、イノベーション創出に向けた経済産業省の種々の施策を紹介します。	経済産業省 産業技術環境局 総務課 技術戦略専門職 奥山 裕大
14:35～15:35	破壊的新規事業の起こし方	歴史ある大企業であっても、あるタイプのイノベーションには負けて滅ぼされてしまいます。本講演では、多くの方が聞いたことはあるが完全には理解できていないこの「破壊的イノベーション」について、その定義、何故大企業は自ら道を譲るのか、破壊的イノベーションを起こすためにはどのようなマネジメントが求められるかについて解説します。	関西学院大学 経営戦略研究 科長 教授 玉田 俊平太
15:45～16:45	イノベーションを量産するアマゾンメカニズム ～日本の組織で実践可能な「仕組み」～	Amazon は様々な新規事業を次々に創出し続けています。それは、創業者ベゾス一人の力だけで成しえたことではありません。イノベーションを量産するメカニズムを社内に構築し、ボトムアップでイノベーションを創出しているからです。Amazon 以外の組織においてもイノベーションを起こすために有効な、体系化された仕組みについて解説します。	DAY ONE INNOVATION(株) 代表取締役 谷 敏行
16:45～17:00	閉会挨拶		日本機械学会関西支部 副支部長 三宅俊也

定員	100名
申込締切	2022年11月11日(金)
聴講料 (税込)	<p>会員 無料</p> <p>協賛学協会個人会員 2,500円</p> <p>会員外 10,000円(会員外学生 無料)</p>
申込方法	<p>イベントペイで受付いたします。</p> <p>イベントペイの導入について(https://www.jsme.or.jp/20200828-2/) に記載の注意事項を予めご一読の上、下記より1名ずつお申込みください。</p> <p>【次の申込ページよりお申し込みください】</p> <p>https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=0638062552488665&EventCode=6827937500</p> <p>■参加費については、11月11日(金)までに決済をお願いいたします。ご入金が確認出来た方には視聴用のURLをお送りいたします。</p> <p>■有料でご参加の方は、参加登録のシステム利用料として、上記聴講料とは別に220円(税込)をご負担いただきます。</p> <p>■お支払い方法は「クレジットカード決済」「コンビニ決済」「ペイジー決済」のいずれかとなります。</p> <p>■「クレジットカード決済」は即時決済となります。</p> <p>■「コンビニ決済」「ペイジー決済」でお申込の方は、支払期限内にお支払手続きをお願い致します。期限を過ぎますと自動的に申込キャンセルとなります。申込完了後に送信されますメールに支払期限等記入しておりますので、必ずご確認ください。</p> <p>■領収書は決済完了メールに記載のURLより、参加者ご自身で取得頂けます。宛名などにご要望がある場合は対応いたしますので、お申込み手続き完了後、事務局までお申し出下さい。</p> <p>■原則として、決済後はキャンセルのお申し出がありましても返金できませんのでご注意ください。</p>
お申し込みの際の注意事項	<p>■本セミナーは、Webexを利用してオンラインで開催致します。</p> <p>■新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、視聴される方の安全を考慮し、複数人での視聴ではなく個人単位でお申込み下さい。</p> <p>■遠隔セミナー参加のための技術的なサポートはできませんので、ご了承下さい。</p> <p>■参加者による、セミナーの静止画/動画撮影、録音は禁止です。「レコーディング」ボタンで録音することは法律で禁止されています。</p> <p>■当日発表の音声、スライドの著作権は発表者に帰属します。</p> <p>■受講者が利用する接続端末、回線のトラブルで受講に支障をきたした場合には、本会では責任を負いかねます。</p> <p>■必要なもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視聴用のパソコン *必須 ・イヤホンまたはスピーカー(PCに内蔵されているもので構いません) *必須 ・マイク(質問をする際に必要となります) ・有線または無線ブロードバンドのインターネット接続 *必須 <p>■事前にWebexの動作確認をした上でご参加下さい。</p> <p>■Webexの事前テスト方法 以下から各自でご確認下さい。</p> <p>https://www.webex.com/ja/test-meeting.html</p>
その他	<p>お申込みの際にご提供いただいた個人情報は、当該行事の運営業務のために利用するほか、当支部が主催する講習会・セミナーのご案内のために利用させていただきます。今後のご案内が不要の場合はお知らせください。</p>
主催・問合せ先	<p>一般社団法人日本機械学会関西支部</p> <p>〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル内</p> <p>TEL:06-6443-2073 FAX:06-6443-6049 E-mail:info@kansai.jsme.or.jp</p>
協賛団体	<p>可視化情報学会、計測自動制御学会関西支部、精密工学会関西支部、システム制御情報学会、日本金属学会関西支部、日本計算工学会、日本材料学会関西支部、日本塑性加工学会関西支部、日本マリソエンジニアリング学会、化学工学会関西支部、日本伝熱学会、日本航空宇宙学会関西支部、溶接学会関西支部、日本船舶海洋工学会関西支部、日本冷凍空調学会、日本燃焼学会、日本鉄鋼協会関西支部、自動車技術会関西支部、ターボ機械協会、日本バーナ研究会、滋賀経済産業協会、京都工業会、奈良経済産業協会、兵庫工業会、大阪科学技術センター、日本技術士会近畿本部</p>